

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	015014	事務事業名	公園緑地一般事務費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600302	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	公園緑地等の適切な維持管理によって、地域の景観や良好な居住環境を確保するため、ソフト面を主体として事務事業を推進する。	事業の目的 (意図)	公園緑地等の維持管理に必要な事務事業を実施し、公園緑地環境の適切な保全を図る。
事業の内容 (手段)	・公園緑地等の管理車輛の維持管理(バックカー車2台・クレーン付トラック1台・軽トラック1台) ・公園関係団体負担金(日本公園緑地協会・全国都市公園整備促進協議会)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値			
				実績値			
				達成度(%)			

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	2,486	2,313	2,290	2,163	2,163
	(予算額) うち一財	千円	2,454	2,281	2,258	2,131	2,131
	直接事業費	千円	2,539	2,086		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	2,502	2,086			
	正職員人件費	千円	3,476	3,480			
	人工数	人	0.47	0.47	0.37		
	支出コスト	千円	決) 6,015	決) 5,566			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	所有する公用車については、毎年故障が発生し、臨時経費が必要となっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・公園のごみ収集作業は、バックカー車がないと成り立たないため、故障すれば業務の休止に追い込まれることから、3台を段階的に更新していく必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	一般事務のため目標の設定は困難であるが、適切な事務処理が出来たため。
	事務事業の方向性	予防保全的な観点に立って、維持管理を推進する。	評価責任者コメント	公園施設の維持管理を行ううえで、必要な事務事業であり、今後とも必要性、効率性を勘案し取組んでいく。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	公用車の維持管理	公用車の効率的で効果的な管理運用	・公用車修繕件数 9件784千円	1,994		0.30	0.00
				否			
②	負担金納付事務	公園緑地等の効率的な管理運営の実施	・日本公園緑地協会及び全国都市公園整備促進協議会への運営費の一部負担	92		0.01	0.00
				否			
③	放置自動車対策事務	放置自動車の発生の防止及び適正な処理	公園緑地内の定期的な巡回確認と放置自動車の処理	0		0.16	0.00
				否			
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	271005	事務事業名	公園・街路樹維持管理事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600302	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	・対象都市公園等(163箇所、70.2ha) ・街路樹50路線(約5,100本)	事業の目的(意図)	公園の維持管理体制の充実を図り、誰もが安全安心に利用できるように維持管理を行う。 街路樹の維持管理においても緑の保全と景観、交通の安全に配慮し適正な管理を行う。
事業の内容(手段)	【公園の種類】街区公園136箇所26.5ha、近隣公園14箇所36.8ha、都市緑地8箇所2.5ha、普通公園4箇所2.9ha、緑道1箇所1.6ha 【業務内容】公園全般の管理、樹木の管理、公園施設の管理、有料施設の管理・運営、公園緑地の使用及び占有許可、公園使用料等の収納、トイレの清掃・管理、街路樹の管理他 【管理体制】嘱託職員5名雇用		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	維持公園箇所数	達成項目/目標項目	箇所	目標値	163.0	163.0	163.0
			実績値	163.0	163.0		
			達成度(%)	100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	113,684	115,938	119,421	118,779
うち一財		千円	110,188	111,290	114,897	115,094	115,094
(決算額)	直接事業費	千円	113,492	113,927		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	106,065	108,340			
	正職員人件費	千円	16,417	21,400			
	人工数	人	2.22	2.89	2.08		
	支出コスト	千円	決) 129,909	決) 135,327			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・開発行為等に伴う都市公園も年々増えており、市民の要望、苦情も多様化、増加している。 ・経年劣化による遊具等の公園施設の老朽化が進んでいる。 ・樹木の肥大化による落葉、越境問題等の苦情が増えている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・公園愛護会の数は増加傾向にあるが、会員の高齢化が進む中、継続的な活動のできる体制づくりが課題となっている。 ・施設の老朽化、市民の要望の多様化により、対応に係るコストは大きく増加している。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	・事故を未然に防ぐための予防保全的な維持管理を計画的に推進する。 ・公園愛護会活動の充実を図り、市民協働のまちづくりによる総合的な維持管理費の削減を図っていく。	評価責任者コメント	良好な景観や生態系の保全等の機能を維持するため樹木の管理マニュアルを作成し、委託業者等への指導を行うなど効率的かつ適正な維持管理を図る。 また、公園愛護会活動の充実を図り、市民協働のまちづくりによる総合的な維持管理費の削減を図っていく。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) 公園管理シートの作成をし、地元自治会をはじめコミュニティや公民館、学校と利用増進を含めた情報共有を行い効率的な管理を行う。街路樹については、街路樹管理マニュアルの運用により剪定サイクル、方法等を更新し、地域の実情に応じた適正な管理を行う。街路樹維持管理委託料の増(2,000千円)	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	嘱託職員雇用事務	適正な公園・緑地の維持管理	嘱託職員4名雇用 業務内容:ごみ回収、点検による施設修繕、草刈・剪定作業、トイレ清掃等	7,536	否	0.06	0.00
②	公園愛護会事業	市民協働による公園・緑地の維持管理	公園愛護会145団体、公園愛護会講習会開催、公園愛護会報奨金145団体 2,314千円	2,314	否	0.47	0.00
③	公園街路樹維持管理	安心安全で快適な公園環境の保持と街路樹による良好な景観と居住環境の創出	街路樹・公園施設の管理、有料施設の管理・運営、公園使用料の収納、トイレ清掃等	104,077	否	2.36	3.85
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	271008	事務事業名	永源山公園管理事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600302	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	永源山公園(総合公園)	事業の目的 (意図)	永源山公園の適正な維持管理を行い、レクリエーションやコミュニティの場として安全安心で、気軽に利用できる公園とする。
事業の内容 (手段)	永源山公園の概要 【公園の種類】都市計画公園(総合公園) 開園面積:18.0ha 【主要施設】市制広場他14広場、各種遊具、レジャープール、風車、野外ステージ 公園管理事務所、軽飲食施設他 【樹木等】つつじ、桜、ケヤキ、モミジ、クスノキ 【駐車場】200台 【開園時間】常時開園 【管理運営】指定管理(グリーン環境協同組合)		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度				
					年間利用者数	達成項目/目標項目	人	目標値	330,000.0	330,000.0	330,000.0
								実績値	334,000.0	371,202.0	
								達成度(%)	101.2%	112.5%	

事業費	項目		単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	60,236	56,229	57,816	57,110	57,110
		うち一財	千円	53,030	48,428	51,035	51,407	51,407
	(決算額)	直接事業費	千円	59,133	56,174		対28年度増減理由	対29年度増減理由
		うち一財	千円	54,220	49,859			
		正職員人件費	千円	7,469	6,665			
	人工数	人	1.01	0.90	0.86			
	支出コスト	千円	決) 66,602	決) 62,839				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	開園(昭和60年)後31年を経過しており、施設の老朽化が進み、長寿命化の観点に立った計画的な改修が必要。平成20年度から指定管理制度を導入している。平成27年度は、花☆ワイン周南まんま市場開催により、公園利用者数が大幅に増えた。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・新規利用者の開拓 ・園内の松くい虫対策の継続 ・開園後、相当年数が経過し、施設の老朽化が進行している。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	指定管理者による業務実績を検証し、検証結果を基に予防保全的な維持管理を実施することにより、より効率的な管理運営を進める。	評価責任者コメント	公園施設の安全性の確保及びライフサイクルコストの削減に向けて、予防保全的管理による長寿命化対策を含めた計画的な改修等を進めていく。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) 永源山公園施設の維持修繕工事については、平成27年度から実施している公園施設長寿命化対策事業との調整を図りながら、優位性を考慮し、効率的な改修・改築工事等を計画的に進める。公園施設維持修繕工事費の増(527千円)。永源山公園指定管理は、平成28年度～平成32年度の5年間、引き続き「グリーン環境協同組合」へ委託する。	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	指定管理事業	サービス向上による公園利用者の増加と管理経費の節減	公園の管理運営業務 公園利用者アンケートの実施	53,962 可		0.24	0.00
②	松くい虫駆除事業	永源山公園の松林の保全	薬剤樹幹注入本数 53本	988 可		0.10	0.00
③	その他維持管理事業	公園利用者の安全安心の確保と良好な公園環境の保持	(施設修繕工事) プール塩素配管修理、主軸園路石張修繕外	1,224 可		0.56	0.00
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	271009	事務事業名	周南緑地管理事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600302	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南緑地(緩衝緑地)	事業の目的(意図)	周南地域の中核となる都市公園であり、適正な維持管理を行い、スポーツ交流の拠点、憩いの空間として市民に親しまれ、安全安心で、気軽に利用できる公園とする。
事業の内容(手段)	【公園の種類】都市計画公園(緩衝緑地) 開園面積:79.6ha 【主要施設】西緑地26.8ha、中央緑地20.07ha、東緑地28.23ha、横浜緑地2.7ha、遠石緑地1.8ha 【駐車場】636台 【管理運営】指定管理[(公財)周南市体育協会]は、東緑地、中央緑地のみ。西緑地の維持管理は直営で実施している。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間利用者数	達成項目/目標項目	人	目標値	300,000.0	300,000.0	300,000.0
			実績値	300,000.0	300,000.0		
			達成度(%)	100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	37,509	35,555	38,480	40,525
うち一財		千円	37,503	35,549	38,474	40,519	40,519
(決算額)	直接事業費	千円	38,839	36,513		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	38,835	36,509		老朽化施設の改修のため施設維持修繕工事費を増額	
正職員人件費	千円	7,395	7,701				
人工数	人	1.00	1.04	0.84			
	支出コスト	千円	決) 46,234	決) 44,214			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	高齢化の進行や余暇時間の増大などにより、公園利用者の増加が予想され、市民の健康志向の高まりや防災に対する意識の高揚などからも、公園に求められる機能が多様化している。今後も引き続き誰もが利用しやすい適切な管理を進める必要がある。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・施設の老朽化が進行しており、施設の維持に関して適切な予算の確保が必要。 ・公園の魅力を高める植物管理が求められている。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	指定管理者による業務実績を検証し、検証結果を基に予防保全的な維持管理を実施することにより、より効率的な管理運営を進める。 植物管理については、年間を通して一定の美観を確保しつつ、イベントスケジュールに応じたメリハリのある管理を行う。	評価責任者コメント	公園施設等については、長期的な視野で維持管理計画を策定して、効率的・合理的な維持管理を進める必要がある。また、指定管理者との連携を密にし、利用者の安心安全と事務対応の迅速化をさらに図っていく必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
公園施設長寿命化対策事業との調整を図りながら、優位性を考慮し、施設改修工事を計画的に進める。特に利用率の高いフレンドパークの遊具補修と「大型商業施設」の開店で利用者の増が見込まれる遠石緑地の老朽化施設の改修を行うため、維持修繕工事費を増額(1,800千円)。指定管理は、平成28年度～平成32年度の5年間、引き続き「周南市体育協会」へ委託する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	指定管理事業	サービス向上による公園利用者の増加と管理経費の節減	公園の維持管理業務 公園利用者アンケートの実施	17,965 可		0.44	0.10
②	その他維持管理事業	公園利用者の安全安心の確保と良好な公園環境の保持	西緑地ひょうたん池浚渫工事、西緑地大賀ハス池浚渫工事、フレンドパーク遊具修繕、緑地内園路灯修繕外	18,548 可		0.60	0.00
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	271011	事務事業名	永源山公園整備事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600301	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)公園・緑地の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	永源山公園(総合公園)	事業の目的(意図)	市民のレクリエーションやコミュニティの場として安全安心で、気軽に利用できる公園として計画的な整備を行うとともに、適切な管理を行い、公園機能の充実を図る。
事業の内容(手段)	長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の計画的な改築・更新を行うとともに、地域防災拠点としての防災機能を充実させる。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	年間利用者数	達成項目/目標項目		人	目標値	330,000.0	330,000.0
実績値					334,000.0	371,202.0	
達成度(%)					101.2%	112.5%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	33,000	79,435	89,500	26,000
うち一財		千円	4,500	9,135	15,400	2,300	14,000
(決算額)	直接事業費	千円	34,159	21,339		対28年度増減理由 対29年度増減理由	対28年度増減理由 対29年度増減理由
	うち一財	千円	3,759	8,409			
	正職員人件費	千円	6,286	5,702		風車長寿命化対策工事の完了に伴う減額。	主軸園路改築工事着手による増額。
	人工数	人	0.85	0.77	1.20		
	支出コスト	千円	決) 40,445	決) 27,041			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	開園(昭和60年)後31年を経過しており、施設の老朽化が進み、長寿命化の観点に立った計画的な改築・更新が必要。 平成20年度から指定管理制度を導入している。 【整備状況】南エントランス及びメインエントランスの園路、広場、駐車場の整備を実施し、平成25年度より供用を開始した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 地域防災拠点として位置づけられており、多方面からのアクセス確保と、防災施設の設置等防災機能の充実が求められている。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	補助事業を活用し整備を円滑に進める。(社会資本整備総合交付金)	評価責任者コメント	公園施設の安全性の確保及びライフサイクルコストの削減に向けて、長寿命化対策を含めた計画的な整備を進めていく。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
公園利用者の安全・安心を確保するため、老朽化した施設の修繕、改修を迅速かつ計画的に進める必要があることから、平成29年度は補助事業を活用し、プールのリニューアル工事を行うとともに、緊急性の高い補修部分の改修工事の実施(26,000千円)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	補助金関係事務	円滑な都市計画事業の推進	財源の確保	0 否		0.05	0.00
②	実施設計(プール)	老朽化施設の計画的な改築・更新による公園利用者の安全の確保及びライフサイクルコストの削減を図る。プール施設改修設計。	実施設計を実施	491 否		0.10	0.00
③	工事	老朽化施設の改修、改築工事。プール、ゆめ風車等	改修、改築、補修工事を実施	20,848 否		0.62	0.00
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	271015	事務事業名	周南緑地整備事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600301	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)公園・緑地の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南緑地(緩衝緑地)	事業の目的 (意図)	周南地域の中核となる都市公園であり、スポーツ交流の拠点、憩いの空間として市民に親しまれ、安全・安心・快適で魅力のある公園として計画的な整備を行う。
事業の内容 (手段)	周南緑地基本計画に基づく実施設計及び施設整備工事の実施		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度				
					年間利用者数	達成項目/目標項目	人	目標値	800,000.0	800,000.0	800,000.0
								実績値	700,000.0	676,700.0	
								達成度(%)	87.5%	84.6%	

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	31,500	28,963	64,337	155,020	81,500
	(予算額) うち一財	千円	3,000	14,763	13,637	8,720	31,200
	直接事業費	千円	29,406	23,568			
	(決算額) うち一財	千円	2,806	14,593			
	正職員人件費	千円	6,286	5,035			
	人工数	人	0.85	0.68	1.00		
	支出コスト	千円	決) 35,692	決) 28,603			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成19年度 フレンドパーク開設 平成20年度 全天候型庭球場(18面) 平成22年度 「周南市緑地公園施設長寿命化計画」策定 平成23年度 野球場リニューアル 平成24年度 徳山自動車学校跡地購入(約2.3ha) 「周南緑地基本計画」策定 平成23年度～26年度 中央緑地園路整備 平成27年度 東緑地暫定駐車場整備 平成27年度～ メインエントランス整備	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・山口県を代表する広域スポーツ拠点として、様々な競技スポーツができる質の高い運動施設の整備が求められている。 ・地域ニーズとして、老朽化したプール改修、陸上競技場やサッカー場の環境改善の要望がある。 ・周南緑地基本計画において、プールや陸上競技場の長寿命化対策となる改築・更新が必要とされている。 ・大規模なイベントや競技会等だけでなく、日常的にも緑地園路への路上駐車が発生している。 ・広域防災拠点及として位置づけられており、多方面からのアクセス確保と、防災施設の設置等防災機能の充実が求められている。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	補助事業を活用し整備を円滑に進める。(社会資本整備総合交付金)	評価責任者コメント	周南緑地基本計画や長寿命化計画に基づき、公園利用者の安心・安全と施設の更新を図るため、計画的にリニューアル事業を進めて行く。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
公園利用者の安全・安心を確保するため、老朽化した施設の修繕、改修を迅速かつ計画的に進める必要があることから、平成29年度は補助事業を活用し、周南緑地基本計画に基づき、メインエントランスの整備等を行う。施設更新・補修工事を実施(155,020千円)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	補助金関係事務	円滑な都市計画事業の推進	財源の確保	0 否	0.03	0.00	
②	工事(仮設駐車場整備)	東緑地の慢性的な駐車場不足による園路への駐車解消	仮設駐車場整備工事を実施	12,409 否	0.35	0.00	
③	実施設計(メインエントランス)	周南緑地の玄関口となるメインエントランスを整備	メインエントランス整備のために、測量設計業務を実施	9,612 否	0.25	0.00	
④	遊具補修	周南緑地の老朽化した遊具の補修	遊具の補修を実施	1,547 否	0.05	0.00	
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	271022	事務事業名	鹿野天神山公園整備事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600301	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)公園・緑地の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	鹿野天神山公園(普通公園)	事業の目的(意図)	中山間地域の拠点となる公園・緑地として適切な維持・管理と公園機能の充実にを図る。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・周南市過疎自立促進計画に基づき、平成28年度から32年度の5年間で計画的な整備を行う。 ・開設後22年を経過し、老朽化した各施設の計画的な修繕、再整備を行う。 ・ふれあい広場の修景整備や山桜の植栽を進め、周南市北部地域のコンベンションゾーンとして整備を行う。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	改修施設数	達成項目/目標項目	箇所	目標値	4.0	5.0	3.0
			実績値	3.0	4.0		
			達成度(%)	75.0%	80.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	20,000	13,000	5,000	20,000
うち一財		千円	0	500	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	19,915	12,279		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	1,015	579		ふれあいゾーン改修工事着手による増額。	
正職員人件費	千円	3,328	3,332				
人工数	人	0.45	0.45	0.55			
	支出コスト	千円	決) 23,243	決) 15,611			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	<ul style="list-style-type: none"> ・経年による施設の老朽化 ・開設時に植栽したソメイヨシノ(300本)のテングス病感染 		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・平成6年の開設から22年を経過しており、段階的な修景整備、施設整備が必要になっている。 ・周辺の観光施設(せせらぎ・豊鹿里パーク)、石船温泉等)との一体的な利用の促進
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・弾正系桜をはじめとして、天神山公園を桜の名所として位置づけるため、観光資源、市民の憩いの場となる植栽工事を行い、景観の整備を進める。 ・利用者の体力や嗜好に合わせたランニングルートやウォーキングルートなどの設定やイベント等ソフト事業の実施を図る。 		評価責任者コメント	天神山公園基本計画に基づき、市民の利用促進と地域の特色のある景観保全に向け、効率的効果的な改修整備を進める必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
鹿野天神山公園は、鹿野地域の核となるエリアとして公園機能の充実に図る必要がある。平成29年度は、過疎対策事業債を活用し、清流通り及びふれあいゾーン多目的広場の改修工事を実施する(20,000千円)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	公園整備事務	老朽化に伴う各施設の計画的な修繕、再整備	親水広場測量業務、清流通り実施計画業務、遊歩道整備工事、便所改修工事を実施	10,858	0.25	0.00	
				否			
②	過疎計画関連事務	過疎計画に基づく鹿野天神山公園の整備	ふれあいゾーン測量業務、基本計画策定業務を実施	1,421	0.20	0.00	
				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	271024	事務事業名	公園施設長寿命化対策事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600301	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)公園・緑地の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	都市公園	事業の目的(意図)	設置から30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる都市公園において、公園施設の計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を定め、公園施設の安全性確保と機能保全を図りつつ、維持管理予算の縮減や平準化を図る。
事業の内容(手段)	周南市公園施設長寿命化計画に基づく、老朽化した施設の改築更新		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	長寿命化対策着手公園数	達成項目/目標項目	箇所	目標値	1.0	8.0	10.0
				実績値	0.0	6.0	
				達成度(%)	0.0%	75.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	0	18,500	27,000	52,700	95,700
	(予算額) うち一財	千円	0	5,200	6,100	6,000	31,100
	直接事業費	千円	0	6,929		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	0	4,164		勝間ふれあい公園長寿命化対策工事着手による増額。	長寿命化計画見直し追加業務委託の発注による増額。
	正職員人件費	千円	0	3,703			
	人工数	人	0.00	0.50	0.85		
	支出コスト	千円	決) 0	決) 10,632			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年4月に周南市公園施設長寿命化計画を策定し、平成27年より実施設計及び工事を行っている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 2ha未満の公園は、補助対象施設が遊具に限定されており、その他の施設改修を行う場合一財で対応する事から、事業の進捗には一定の予算確保が必要となる。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	補助金の内示額が少なく当初予定した公園数の事業実施が出来なかったため。
	事務事業の方向性	補助事業を活用し整備を円滑に進める。(社会資本整備総合交付金)	評価責任者コメント	周南市公園施設長寿命化計画に基づき、利用者が安心安全に利用できるよう、効率的、効果的な改修整備を進める必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
公園利用者の安全・安心を確保するため、老朽化した公園施設の改築更新を迅速かつ計画的に進める必要がある事から、平成29年度は補助事業を活用し、周南市公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園11箇所の公園施設長寿命化対策工事の実施(52,700千円)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	公園長寿命化対策事業	老朽化に伴う施設の計画的な修繕、再整備	実施設計業務及び長寿命化対策工事を実施	6,929	否	0.45	0.00
②	補助金関係事務	円滑な都市計画事業の推進	財源の確保	0	否	0.05	0.00
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	271032	事務事業名	永源山公園イベント事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600302	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	永源山公園(総合公園)	事業の目的(意図)	市民参加による実行委員会を中心としたイベントを開催することより、地域のふれあいの場を提供し、公園の利用を促進するとともに、地域の活性化を促す。
事業の内容(手段)	実行委員会主導によるイベントの開催 ・5月 つつじ祭り ・10月 ゆめ風車まつり 指定管理者による地域連携イベントの開催 ・10月 チューリップ満開作戦		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	イベント来場者数	達成項目/目標項目	人	目標値	50,000.0	50,000.0	50,000.0
実績値				30,000.0	40,200.0		
達成度(%)				60.0%	80.4%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,410	1,410	1,310	1,500
うち一財		千円	1,410	1,410	1,310	1,500	1,500
(決算額)	直接事業費	千円	910	1,405		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	910	1,405			
	正職員人件費	千円	5,694	5,702			
	人工数	人	0.77	0.77	0.66		
	支出コスト	千円	決) 6,604	決) 7,107			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・つつじ祭り第31回、ゆめ風車まつり第15回と継続しており、周南市の一大イベントとして定着している。 ・チューリップ満開作戦は平成28年度より指定管理者で対応。 ・平成26年度は台風によりゆめ風車まつり中止。平成27年度はつつじ祭り悪天候により来場者数少ない。	課題・問題点	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 各イベントの実行委員会において、組織体制や企画力の強化を図る必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	・地域の活性化と観光振興に寄与するものであり、実行委員会との連携による市民参画事業でもあるので、継続的に開催していく。 ・平成28年度において、つつじ祭りの開催日数及びイベント内容の見直しを実行委員会で検討する。	評価責任者コメント	つつじ祭りやゆめ風車祭りは、実行委員会で開催されており、地域の活性化にも寄与していることから、今後も継続して実施していただきたいが、事業の簡素化や事務分担などの検討を進め、長く活動できる体制づくりが必要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
「つつじ祭り」については、すでに開催が30回を超え地域のお祭りとして定着しているが、来園者アンケートではマンネリ化を指摘され来園者数も減少している。更なる集客により地域の活性化を図るため、市民中心の実行委員会においてリニューアルを計画している。イベントリニューアルに係る経費の増額(190千円)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	つつじ祭り	イベント開催による永源山公園の利用促進と地域の活性化	来場者数 32,000人	810 可	0.33	0.10	
②	ゆめ風車祭り	イベント開催による永源山公園の利用促進と地域の活性化	来場者数 8,000人	500 可	0.28	0.05	
③	チューリップ満開作戦	イベント開催による永源山公園の利用促進と地域の活性化	チューリップの植付 参加幼稚園、保育園 6園 参加者 約200人	95 可	0.16	0.05	
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	271062	事務事業名	都市緑化推進事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600303	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)緑化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市民	事業の目的 (意図)	花とみどりに関する情報の普及を行うとともに、花とみどりにふれあう市民相互の交流の場を提供し、緑化意識の高揚を図る。
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> 緑化資材の供給と花の栽培管理事業 花壇コンクール(生涯学習課と共催) 花とみどりの相談支援事業 花とみどりの地域リーダー養成講座 <ul style="list-style-type: none"> 種から育てた苗で花壇づくり 京都大学連携事業 		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	

事業費	項目		単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	3,245	3,310	3,454	3,179	3,179
		うち一財	千円	3,245	3,184	3,454	3,057	3,057
	(決算額)	直接事業費	千円	2,947	3,237		対28年度増減理由	対29年度増減理由
		うち一財	千円	2,937	3,112			
		正職員人件費	千円	2,810	2,814			
		人工数	人	0.38	0.38	0.38		
	支出コスト	千円	決) 5,757	決) 6,051				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成21年度に開始した「花いっぱい緑化活動推進事業」を平成24年度から「都市緑化推進事業」に名称変更した。	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 本事業は、市民参加による緑化活動を啓発することを目的としていることから、短期間での成果は期待できないものの、継続的に実施することが必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	関係機関、関係部署との連携を強化し、多面的に事業を推進する。	評価責任者コメント	市民参加による緑化活動の推進・啓発と緑豊かな環境整備のため、市民及び関係者との協議により事業を継続的に実施していく。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
周南市の顔であるシンボルロードの景観づくりを進めるため、岐山通りシンボルロード花壇の維持管理業務の充実を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	緑化資材の供給と花の栽培管理事業	都市緑化の推進	育苗団地で育成した花苗の地域花壇への配布やストックヤードのチップ化資材を活用	3,094	否	0.08	0.00
②	花とみどりの相談支援事業	都市緑化の推進	花の専門家を現地に派遣し、花の栽培、育苗に関する支援	0	否	0.01	0.00
③	花とみどりの地域リーダー養成講座	都市緑化の推進	年3回、土作り、肥料、種まき、管理の仕方などについて講師による研修会を開催	40	否	0.09	0.00
④	種から育てた苗で花壇づくり	都市緑化の推進	公民館・公園・道路などの花壇で花づくりをしている団体に対し、花の種子、培土、プラグトレイを配布した。	35	否	0.05	0.00
⑤	京都大学連携事業	都市緑化の推進と専門的知識を持った人材の育成	公開講座と連携講座を開催	68	否	0.15	0.00

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	272010	事務事業名	緑のリサイクル事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600303	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)緑化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	公園緑地の樹木、街路樹、花壇管理団体、育苗団体	事業の目的 (意図)	公園・街路樹等の維持管理で発生する剪定枝、伐倒木等については、ゴミとしてではなく資源として捉え、地球環境にやさしく、最小の費用で活用を図る。この事業により、公園・緑地・地域花壇の緑化促進資材として、公園緑地分野の循環型社会の形成を目指す。
事業の内容 (手段)	公園・街路樹等の維持管理で発生する剪定枝、伐倒木等を指定場所に集積し、木材破砕処理機によりチップ化し堆肥化したものを、公園緑地・地域花壇の緑化促進剤として活用する。樹木管理箇所:街路樹配置路線(50路線)、公園数(163公園) ストックヤード4箇所:徳山・新南陽地区=ベガサス、周南緑地 熊毛地区=高水原		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	維持公園箇所数	達成項目/目標項目	箇所	目標値	163.0	163.0	163.0
			実績値	163.0	163.0		
			達成度(%)		100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,500	4,828	4,819	4,819
うち一財		千円	4,500	4,828	4,819	4,819	4,819
(決算額)	直接事業費	千円	4,482	4,752		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	4,482	4,752			
	正職員人件費	千円	2,071	2,444			
	人工数	人	0.28	0.33	0.43		
	支出コスト	千円	決) 6,553	決) 7,196			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	・平成20年度から事業を開始、環境事業としての効果は大きい。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・市民への事業の周知と利用団体数の拡大 ・利用可能なチップ材としての品質確保が難しい
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	これまでの実績では、年間約700m ³ がチップ化され、愛護会等花壇づくりの団体が堆肥として利用している。今後もコストに配慮し、事業の効率性を高めたい。		評価責任者コメント	低炭素社会の実現に向けた取り組みであり、本事業は重要な役割を担っている。今後もチップ材の利活用の推進を図るため市民へのさらなる周知が必要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
チップの有効活用を図るため、地元自治会をはじめコミュニティや公民館、学校と利用増進を含めた情報共有を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	木材破砕処理業務委託	公園緑地・地域花壇の緑化促進剤としての活用	チップ化量700m ³	4,752		0.43	0.00
				可			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	513020	事務事業名	児童福祉施設管理事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者(課長)	兼重 博行	評価責任者(部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600302	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	児童遊園49箇所	事業の目的(意図)	子どもたちが安心して利用できるレクリエーションやコミュニティの場を確保するため、児童遊園の適切な維持管理を行う。
事業の内容(手段)	対象児童遊園49箇所 児童遊園の借地契約事務(借地契約件数9件)、施設の修繕、遊具の点検等		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	遊具の点検回数	達成項目/目標項目	回	目標値	6.0	6.0	6.0
実績値				6.0	6.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,905	2,766	2,772	2,660
うち一財		千円	2,889	2,750	2,761	2,648	2,648
(決算額)	直接事業費	千円	4,325	2,596		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	4,297	2,568			
	正職員人件費	千円	2,292	3,036			
	人工数	人	0.31	0.41			
	支出コスト	千円	決) 6,617	決) 5,632			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	児童の健全育成のため、安全な遊び場の提供や整備が求められているが、車社会の熟成や遊び場自体の魅力の問題から、利用度合いは低下傾向にある。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・遊具、設備等の老朽化が著しい施設もある。今後、維持管理経費(修繕費・委託料)を抑えつつ、耐用年数を超えた大量の児童遊園施設の改善を進めるかが課題となっている。 ・開設当初から地域住民の協力を得て、草刈、清掃等の維持管理が行われてきたが、少子高齢化に伴い、年々その維持管理を取り巻く環境は厳しい状況下にある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	児童がいつでも安全・快適に使用することができるよう適正な管理を行うことが必要で、危険な遊具については、撤去・修繕に努める。	評価責任者コメント	小規模な都市公園や児童遊園の公園施設については、利用者が安全安心にな利用できるよう、適切な管理を行う必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
老朽化施設については、劣化度と利用状況により修繕か撤去かを判断する。また、施設点検、調査を行い修繕計画を作成し計画的な長寿命化対策を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	児童福祉施設管理事業	子ども達が安心して利用できる遊び場を確保する。	・遊具の安全点検を実施(点検年6回) ・遊具修繕(中畷、千代田児童遊園) ・フェンス修繕(自由が丘、新清光台3丁目児童遊園、平野児童遊園)	2,596		0.41	0.25
②				可			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	714041	事務事業名	農村公園管理事業費			
担当部・課名	都市整備部 公園花とみどり課	評価者 (課長)	兼重 博行	評価責任者 (部長)	岡村 洋道	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600302	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3緑の空間の創造			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)公園・緑地・街路樹の維持管理の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	農村公園6箇所(鹿野地域)	事業の目的 (意図)	農村地域の市民のレクリエーションやコミュニティの場として利用されている、農村公園の適切な維持管理を行う。
事業の内容 (手段)	鹿野地域6箇所の農村公園の維持管理業務 ・小潮農村公園 ・西河内農村公園 ・本町農村公園 ・石船農村公園 ・大泉農村公園 ・田原農村公園		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	農村公園管理数	達成項目/目標項目	箇所	目標値	6.0	6.0	6.0
実績値				6.0	6.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	500	503	506	1,040
うち一財		千円	500	503	506	1,040	1,040
(決算額)	直接事業費	千円	487	495		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	487	495			
	正職員人件費	千円	74	74			
	人工数	人	0.01	0.01	0.14		
	支出コスト	千円	決) 561	決) 569			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	地域の憩いの場(地域の祭事やグランドゴルフ等)として利用されており、地域活性化への一助となっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・現状の維持管理は利用上最低限のものである。 ・農村環境整備を目的に設置したものであるが、荒廃が著しく、地元集落の利用も少ない一部の公園については存続意義の検討を要する。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	予防保全的な維持管理の実施	評価責任者コメント	中山間地域の拠点となる公園として、適切な維持管理を行い、地域のコミュニケーションや、地域の活性化を促す地域活動の場として、公園機能の維持充実に努める必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
公園遊具の劣化状況と利用頻度を考慮し計画的に施設の維持修繕を行う。平成29年度は本町農村公園の老朽化遊具の補修を行う。施設維持修繕費(500千円)	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	農村公園管理事業	適切な管理により、農村居住者の健康増進と憩いの場を提供する。	6ヶ所の農村公園の適切な維持管理の実施	495 可		0.01	0.00
②							
③							
④							
⑤							